

アレルギー物質を含む食品の検査結果

アレルギー物質を含む一部の食品には表示が義務付けられており、現在、特定原材料として卵、乳、小麦、そば、落花生、えび、かきの7品目が指定されています。

平成26年5月及び8月に健康福祉局食品専門監視班と瀬谷区福祉保健センターが市内のレストラン、社会福祉施設、食品製造施設にて収去したアレルギー対応食などについて、卵、小麦、乳、そばの検査を行いました。これらの検査結果を報告します。

1. 卵の検査

市内の低アレルゲンメニューを提供しているレストランや、市内の社会福祉施設などから収去した原材料に卵を使用していない食品について、卵の検査を16検体行いました。

ELISA法によるスクリーニング試験の結果、すべて陰性(10ppm未満)でした(表1)。

表1 卵の検査結果

食品	スクリーニング試験		確認試験	
	検体数	陽性数	検体数	陽性数
弁当・そうざい類	16	0	0	0
合計	16	0	0	0

2. 小麦の検査

市内の低アレルゲンメニューを提供しているレストランなどから収去した原材料に小麦を使用していない食品について、小麦の検査を8検体行いました。

ELISA法によるスクリーニング試験の結果、すべて陰性(10ppm未満)でした(表2)。

表2 小麦の検査結果

食品	スクリーニング試験		確認試験	
	検体数	陽性数	検体数	陽性数
弁当・そうざい類	5	0	0	0
パン類	3	0	0	0
合計	8	0	0	0

3. 乳の検査

市内の社会福祉施設から収去した原材料に乳を使用していない食品について、乳の検査を8検体行いました。

ELISA法によるスクリーニング試験の結果、すべて陰性(10ppm未満)でした(表3)。

表3 乳の検査結果

食品	スクリーニング試験		確認試験	
	検体数	陽性数	検体数	陽性数
弁当・そうざい類	8	0	0	0
合計	8	0	0	0

4. そばの検査

市内の食品製造施設から収去した麺類(うどん6検体、中華麺1検体)や、その原材料(小麦粉1検体)について、そばの検査を8検体行いました。

ELISA法によるスクリーニング試験の結果、すべて陰性(10ppm未満)でした(表4)。

表4 そばの検査結果

食品	スクリーニング試験		確認試験	
	検体数	陽性数	検体数	陽性数
麺類(うどん、中華麺)	7	0	0	0
小麦粉	1	0	0	0
合計	8	0	0	0

※ ELISA法によるスクリーニング試験は、抗原抗体反応を利用して食品中に含まれる特定のタンパク質(アレルゲン)を検出する方法ですが、食品の加工度合いや使用原材料によっては、偽陽性となる場合があります。そのため、スクリーニング試験で陽性となった場合は確認試験を行っています。確認試験にはウェスタンブロット法とPCR法の2種類があります。卵、乳については、電気泳動によりタンパク質を分子量で分離して抗原抗体反応を行うウェスタンブロット法を、また、小麦、そば、落花生、えび、かにについては、特異的なDNA領域を増幅して検出するPCR法を用いて確認しています。

【 検査研究課 食品添加物担当 】